

# 都市計新聞

発行者：坂井 檜垣，矢端 篠畑，藤村 安延

## 愛媛大学オープンキャンパス開催 高校生へ都市計画研究室を紹介



研究室紹介の様子

八月九日、十日に愛媛大学のオープンキャンパスが開催された。都市計画研究室は、九日の工学部のプログラムに参加した高校生に向け、研究室紹介と行っている研究についてのポスター発表を行った。研究室紹介では、愛媛大学と都市計画研究室の魅力や魅力を伝えた。次に、研究室から発表者として選出された十名の学生がそれぞれ行っている研究について、ポスターを用いた約四十五秒間のプレゼンテーションを行った。その後の質問タイム、ドライビングシミュレーター体験では、高校生と学生の間で、研究や学生生活についての活発な意見交換が行われていた。



ポスター発表の様子

### 四回生、ポスター発表の難しさを実感

四回生は、自身の研究についてポスター発表を行うことは初めてであった。ポスター制作、プレゼンテーションの仕方を考える上で、頭を悩ませている学生も多かったと思われる。

ポスターの制作は、七月の中旬ごろから開始された。自身が行っている研究を高校生でも理解しやすい形でポスターにまとめることが目標となった。高校生にも理解できるような言葉や図表を用いてポスターを制作することは、簡単なことではなく、学生同士で、ポスターにかかれた言葉や図表が何を意味しているのか互いに確認し合いながら、制作は進められた。

たくさんさんの差し入れ。ありがとうございました！

今年の夏も、先生、OBの方からたくさんさんの差し入れを頂きました。

吉井先生からはたくさんさんのトウモロコシを頂きました。また、研究室OBの多久和先輩からは、パックごはんや冷凍牛丼などを頂きました。今後の研究活動のエネルギーにさせて頂きます。ありがとうございました！



多久和先輩から頂いたパックごはん

オープンキャンパスの二日前の七日に行われた研究室紹介のリハーサルでは、ポスターを用いた約四十五秒間のプレゼンテーションの練習を行い、先生方からアドバイスを頂いた。練習では、多くの情報を伝えようとするあまりに、説明が複雑になっていく学生も見られた。

オープンキャンパス当日の発表では、それぞれ、練習のときのアドバイスを踏まえ、伝えたい情報を絞ったプレゼンテーションを行った。今回のポスター制作・発表の中で得た経験を活かし、中間発表や卒論発表等へ向け、活動に取り組んでいく。

## 都市計 OB 情報

2022 年度に卒業された先輩にインタビューしました！



名前 奥村尚登

修了年度 2022 年度

勤務先 日本電気株式会社 (NEC)

仕事内容

海外の鉄道通信システムの構築業務に携わっています。

研究室での思い出

サーバルームに PC が 4、5 台しかなかった頃から 3 年間で倍に増えたのを見届けたこと。

栃木県宇都宮市で LRT (次世代型路面電車) の運用が 8 月 26 日に始まった。LRT は、乗降の容易性、定時性、快適性など、面々で優れた路面電車交通システムである。LRT は欧米の都市部では数多く導入され、国内では富山市などで導入されている。今回、宇都宮市では新しい路線として LRT が建設されたが、国内で新しく路面電車の路線が新設されたのは実に 75 年ぶりとなる。

### 宇都宮市 LRT の開業

LRT は宇都宮駅の東口と芳賀町の工業団地の約十四キロの区間を結ぶ。平日の一日当たり約一万六千人、休日は約五千人の利用者を見込んでおり、初年度から黒字になると試算されている。

学生時代にやっておけばよかったこと

もっと飲み会に参加しても良かったなと思いました。

学生へのメッセージ

社会人になると思いもよらないところで学生時代の経験が生きます。主体的に行動して、たくさん学んでください！

先生へのメッセージ

ご無沙汰しております。東京で半年も過ごす瀬戸内海は自然が懐かしくなります。また一緒に遊んでください。

# 研究室旅行 in 淡路

## 淡路島へ

8月28、29日に都市計の学生21名で兵庫県の淡路島に一泊二日の研究室旅行を実施しました。毎年、夏にある都市計の恒例行事の研究室旅行ですが、ここ数年コロナ渦の影響で実施できていませんでした。今年はコロナも落ち着いたので例年通り研究室旅行が開催されました。

今回の旅行スケジュールは、一日目淡路島（コテージでBBQ）二日目はお昼ご飯（西条（加茂川）でした。今回はレンタカー2台と四回生の後藤君と吉武君が車を出してくれて計4台で移動し、一日目は淡路島にあるコテージ【ラテラス淡路】に向かいました。車での移動途中、各車ごとに昼食へ向かい、昼食では淡路島のバーガー屋でハンバーガーを食べたり、徳島県に寄り道し徳島ラーメンを食べたりし、各々お腹を満たしました。



宿泊したコテージ

テラスからは海を望める自然に囲まれた場所でした。到着後は夜のBBQに向けて全員で食材や会場の準備をしました。人数も多いため食材や飲み物の買い出しに苦戦しましたが、それもまた旅行の醍醐味だなと感じました。BBQではおいしいお肉を食べ、お酒を飲みながら、この日は研究のことは忘れみんなで楽しい夜を過ごしました。

二日目は淡路島でマリンスポーツをする予定でしたが、予算の関係で西条市の加茂川に行き川遊びに変更となりました。川は透き通ってきれいで天気もよかったです。川は透き通ってよかったです。水深がある場所では岩の上から川へ飛び込みなどし、夏を感じました。

今年度は先生方のご都合が合わなかったため学生のみとなりましたが、来年の研究室旅行は先生方と一緒に実施したいです。

今回の旅行でよりみんなの仲も深まり、しっかり楽しめたのでこれからまた気持ちを切り替えてまずは10月の中間発表に向けて研究に励んでいきたいです。



集合写真の様子

## 研究室の夏

8月中旬から9月下旬まで、大学生は夏休みを過ごします。これまでの夏休みと違い、今年度は研究活動のために多くの時間を研究室で過ごしました。

研究をするにあたっての課題点はプログラミングのコードの知識が乏しい点であり、この課題点は研究スピードに直結し研究に多くの時間を費やす原因となっています。そこで、この課題点を克服するために図書館で本を借りる、ネットの情報をまとめる等の方法を用いました。しかし、分からないことを調べる日々は毎日順調にいくわけではありません。

これまで研究につまずいたときは、趣味である映画鑑賞をするといった現実逃避型のリフレッシュを行っていました。これからは積極的に人に聞くといいように研究の取り組み方を見直していきたいと思っています。

10月1日の中間発表のために、夏休み期間にも関わらず研究室に来て、自分の研究を進めている都市計画研究室の仲間がたくさんいます。彼らの姿を見ていると自分もまだまだへこたれている場合ではないと奮起させられます。

大学生最後の夏休み、人生最後の夏休みが有意義なものになるようにこれからも自分の研究に精進していきます。

## 無人タクシー

### 24時間営業解禁

今年8月10日、米カリフォルニア州サンフランシスコ市内で自動運転レベル4の「完全無人タクシー」が24時間営業を認められた。▼自動運転タクシーといえば、2018年に中国のウェイモにより世界で初めて実用化された。しかし、当時は運転席にセーフティドライバーの乗車が必要、特定の道路しか走行できない、交通量や人の往来が少ない時間帯にしか走行が許されないという障壁が存在した。日本でも自動運転車両の開発が進められているものの公道での実用化には至っていないため水を開けられた印象が強い。▼一方で自動運転による事故が散見される。記憶に新しいものでは2021年の東京パラリンピック選手村で起こった自動運転バスの事故が挙げられる。この事故ではバスの挙動を管理するオペレーターが書類送検されている。▼では、無人の自動運転車両が事故を起こした場合にどうなるのか。このように実用化に向けた課題はまだまだ存在しており、法整備・ハッキングに対する対策・インフラの整備・AIの精度向上・高精度3次元地図の整備が重要とされている。▼完全無人タクシーはスマートフォンアプリで自分の居場所と行き先を指定するだけで利用することができる。この技術が確立すればスマートフォン以上の衝撃を日本の自動車市場にもたらさるだろう。